



寄稿 「技術士として」

NPO 法人

トンネル工学研究会

理事長

京都大学名誉教授

朝倉俊弘



私は「建設部門（トンネル）」の技術士である。昭和51年に日本国有鉄道に就職して、出来るだけ早く技術士の資格を取得したかったのであるが、当時は職場で受験順番待ちの不文律というか空気があつてなかなか受験できず、40歳になる前によく資格を得ることが出来た。当時は合格率が十数パーセントに固定されており、なかなかの難関試験であった。大学の先生が受験しても実経験が少ないためか、コロコロ落ちる、あるいは受験対策書の執筆者が受験して落ちた、というような話も聞いた。恐らく私の得た資格の中で最も競争率の高い試験であったと思われる。合格通知は、山東昭子科学技術庁長官（現参議院議長）名で頂いたことを覚えている。

その後、経験年数を重ね、出題・採点委員も務めた。日々の仕事の合間に少しずつ断続的に採点すると判断が変化するように感じていたので、土曜・日曜を使って一気に採点した。期日に間に合わせるために、毎年一日は徹夜を余儀なくされたものである。汚い字、筋の通らぬ論理、主語と述語が不明、といっ

た答案に出会うとイライラが高じる。この時の経験から、その後受験準備者には「丁寧な字で論理的に」答案を書くようアドバイスした。要は読みやすければ採点側の精神状態も平穏で、甘くはならずとも辛くはならないであろう、ということである。

大学に籍を移してからは、卒業していく学生には就職後速やかに技術士試験を受験するよう指導した。歳をとればとるほど受験のための勉強も辛くなるし、沢山字を書くことが億劫になるからである。

大学を定年退職してからは、研究者・教育者から転じて研究・教育の経験を有する技術者として幅広く活動している。お手伝いをしている組織ごとに名刺を作って頂いているが、持っているいくつかの資格の中から「工学博士」と「技術士」の資格のみ添えている。

京都大学技術士会の会員の皆さんは、それぞれの技術分野での中心的立場、指導的立場にあり重要な役割を果たしておられるものと存じます。益々のご活躍を祈念するとともに、何卒、後輩技術者のご指導をよろしくお願いいたします。



代表幹事 退任にあたっての所感 「持続可能な京都大学技術士会の あり方」

京都大学技術士会 参与
(前 京都大学技術士会
代表幹事)
武藤光



京都大学技術士会の会報第7号の発行にあたり、一言ご挨拶させていただきます。私は、平成27年4月から平成31年3月までの2期4年間、副会長兼代表幹事を務めさせていただきました。これもひとえに、会員の皆様のご理解とご支援のお陰と、紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。この間、8回の講演会、12回の「技術士を目指そう」説明会、4回の大会・特別講演会等を計画し、大過なく実行することができました。このような諸行事の開催は、当会の役員・幹事のご協力の賜物です。改めて、心より御礼申し上げます。

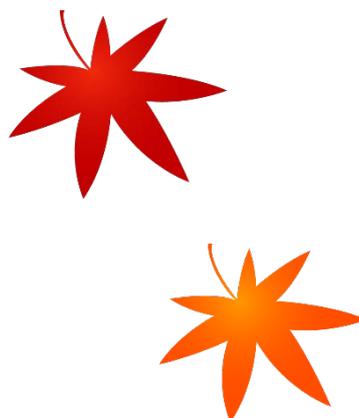
なお、当会の会員数ですが、設立から2年間で約500名に達しましたが、その後の4年間では200名あまりと増加率は減少傾向にあります。現段階では740名に届くところまでできましたが、会員増加はプレゼンスの向上にもつながることから、当面1000名を目標にして今後も積極的な勧誘を行いたいと思います。

一方、当技術士会の活動を主体的に支える役員・幹事は、当初約20名からスタートしましたが、現在では約40名と大幅に増え、活動内容の充実に大きく貢献しています。シニア幹事が若手幹事をサポートするという理念で、積極的な会の運営を行っています。

さて、今年は設立7周年の記念事業を計画していますが、今後10年、20年、と当会の持続的な発展を図るため、私も心がけていたいくつかの提言を、改めて述べさせていただきます。

- ・新設した準会員制度に基づく、若手会員の積極的勧誘
- ・役員・幹事への若手の起用
- ・幹事の役割分担の見直しによる業務の平準化
- ・役員・幹事を退任する際の後任者の指名
- ・中長期ロードマップの見直しと、実現性を考慮した計画的な諸活動の実行

私は、当会の設立に微力ですが携わらせていただきました。その当時のメンバーは徐々に少なくなりましたが、設立メンバーの熱い気持ちや将来への抱負など、初心を忘れることなく今後も「参与」として活動を続けて参りたいと考えます。



代表幹事 就任の抱負 「京都大学技術士会で お会いしましょう」

京都大学技術士会
代表幹事
石原 吉雄



2019年度より第4代副会長兼代表幹事を務めます。宜しくお願ひ致します。当会の運営についてご紹介しながら、ご挨拶とさせていただきます。

当会は2013年に設立され今年で7年目に入りました。これまでも多くの皆様のお力添えにより運営されて参りました。

当会の主な催しとしましては、総会（1回/年、関東・関西交互に開催）、講演会（総会時、ホームカミングデーに開催）、イブニングセミナー（1から2回/年、主に関東で開催）、技術士を目指そう説明会（4回/年（関東2回、関西2回））などがあります。

実務的な運営主体として、現在31名のメンバーがボランティアとして参加する「幹事会」を年に3回から4回程度開催し、各種催しの準備や会の運営に関する事項の検討、実施、意見交換を行っています。その他、ホームページやメーリングリストを通じての広報活動、他大学技術士会との交流、2年に1回の中長期計画検討会などです。

随時、幹事会の新メンバーを募集しております。

当会の魅力は、産学官、また多様な分野や年代の皆様との出会いにあると思います。

各種催しへ積極的な参加を頂き、より交流が活性化することを祈念しております。また、是非幹事会にご参加を頂き、より厚みのある交流ができることを期待しております。

8月末現在、会員数は740名に届くところですが、1000名を目標により多くの皆様との交流の場となることを目指しています。

これからも諸行事の拡充を図りながら、「京都大学」の「技術士会」だからこそできる活動を通じて、会員と大学役員・教職員・在学生・卒業生のお役に立てる団体を目指してまいります。今後とも、皆様の力強い一層のご支援をお願いいたします。



第11回講演会

第13回京都大学ホームカミングデイの開催に伴い、京都大学技術士会第11回講演会が、百周年時計台記念館で開催されました。この行事は、会の主要事業の一つである会員の継続研鑽と会員相互の交流を目的に行われているもので、今回は関西地区に在住する会員を中心に60名の参加がありました。

講演会では、大西有三 会長（元理事・副学長、工学部・1968年卒）による冒頭挨拶につづき、西田豊明 情報学研究科教授（工学研究科・1979年修了）から、「人工知能のもたらしつつあるもの」との題で講演がありました。昨今、人工知能については、実社会に大きなインパクトを与える一方で、悪用や暴走などが人間社会に負のインパクトをもたらすことも懸念されています。こうした情勢を踏まえ、人工知能の研究開発の歴史と現状を俯瞰し、人工知能がこれからどのような変化をもたらし得るかについて、Google 翻訳などの実例も交えつつ講演されました。講演に引き続き行われた質疑応答では、会場の参加者から多くの質問があり、西田教授は一つ一つの質問に丁寧に応えました。



写真1 講演する西田教授

講演会終了後、懇親会が開催されました。同会副会長の大津宏康 工学研究科教授（工学研究科・1981年修了）の挨拶の後、同会副会長の大嶋正裕 工学研究科長（工学研究科・1986年博士修了）の乾杯の発声で始まり、幅広い年齢層・分野の技術者の方々が参加されての有意義な意見交換が行われました。上田泰史 幹事（農学研究科・1983年修了）と演奏グループ香久夜によるマンドリン・ギターアンサンブルによる演奏も花を添え、最後は全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱し、本学の発展と会員のますますの健勝を祈念して、盛会のうちに閉会しました。



写真2 集合写真



第14回「技術士を目指そう」説明会

第13回ホームカミングデイの日の午前、百周年時計台記念館2階会議室 III において第14回「技術士を目指そう」説明会が開催され、現役学生・卒業生あわせて5名の参加がありました。

本会の武藤光 代表幹事（工学研究科・2000年博士修了）による開会の挨拶に始まり、久保田正博 幹事（理学研究科・1995年修了）の司会進行の下、田岡直規 副代表幹事（工学研究科・1983年修了）から「国家資格『技術士』について」と題して、技術士制度の概要・主旨から資格の位置づけ、効用、求められる資質や能力についての説明がありました。次年度（2019年度）に予定されている試験制度の改正に関する説明も併せて行われました。



写真3 武藤代表幹事による開会挨拶

続いて「技術士による体験談」として、森林部門及び建設部門の仲矢順子 幹事（農学研究科・1994年修了）、建設部門の佐伯賢一 幹事（工学研究科・1994年修了）、機械部門及び総合技術監理部門の千田琢 幹事（工学研究科・2000年修了）3名の先輩技術士により、それぞれの専門分野での個人的体験に基づいた説明が行われました。技術士コミュニティへの参加で自社以外の交流の機会が増えるといった話や、資格取得を通じて、現場の経験的な作業を理論的に体系づける能力、専門技術者として「自分は何ができるのか」を明確に相手に伝えるプレゼン能力などが身に付く、といった話がありました。

この後は個別相談会として、技術士資格や受験に関する疑問点など、説明会参加者と既技術士である会員との間で活発な質疑応答が交わされました。



写真5 質疑応答風景



写真4 田岡副代表幹事による説明



第15回「技術士を目指そう」説明会

第15回「技術士を目指そう」説明会が、関東地区（日本技術士会・機械振興会館会議室）において開催され、関東地区に在住する卒業生を中心に8名の参加がありました。

武藤光代表幹事（工学研究科・2000年博士課程修了）の開会挨拶に始まり、第1部では技術士制度の説明に続き、各分野で活躍する卒業生技術士を代表し、経営工学部門から大坪利行 幹事（工学研究科・1978年修了）、建設部門から松井理恵 幹事（地球環境学舎・2004年修了）、金属部門から田中和明 氏（工学研究科・1982年修了）の3名が、それぞれの体験を交えた技術士資格取得のメリットに関する講演を行いました。続いて、2017年度に技術士二次試験に合格した建設会社勤務の幸田聡 氏（工学研究科・2011年修了）が合格体験談を披露し、そして試験制度の説明と京都大学技術士会の設立趣旨・活動状況説明がありました。



写真6 説明会の開催風景

第2部では参加者が取得希望部門別のテーブルに分かれ部門別相談会が実施されました。各テーブルでは活発な質疑応答が行われ、個別のケースに合わせたより詳しい受験相談が実施されました。また、相談会に続いて、参加者の受験へ向けた壮行を兼ねた交流会が行われました。

第16回「技術士を目指そう」説明会

工学研究科主催、京都大学技術士会共催で第16回「技術士を目指そう」説明会が、桂キャンパスB

クラスター桂ホールにおいて開催され、学部生、大学院生、教職員等合わせて20名が参加しました。

最初に、京都大学技術士会副会長で技術士（建設部門）でもある大津宏康工学研究科教授（工学部・1979年卒）が、「学生が社会に出た後のキャリアパスとして、技術士という国家資格を取る事も一つの手段である」と挨拶しました。

次に、石原吉雄代表幹事（工学研究科・1988年修了）が京都大学技術士会を紹介し、上田泰史 幹事（農学研究科・1983年修了）が技術士制度および技術士試験制度の説明をしました。

続いて、機械部門・情報工学部門で活躍する先輩技術士の当会幹事が、技術士受験の体験談や技術士のメリット、業務で役立つ点などを説明しました。

質疑応答では、学生から「技術士という資格は海外でも通用しますか」、「1次試験を通過した後、どれくらいの業務経験を積んだら2次試験を受験できますか」など、多数の質問が寄せられ、当会技術士と活発なやり取りが行われました。

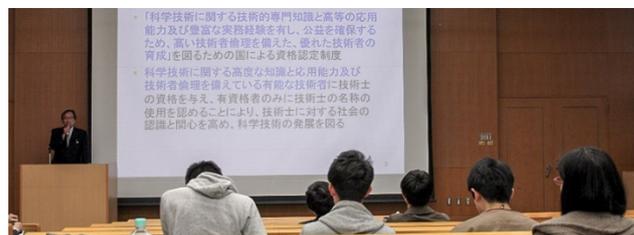


写真7 説明会の開催風景

第26～28回 幹事会 第2回役員総会

2018年11月3日に第26回幹事会、2019年2月23日に第27回幹事会、2019年7月27日に第28回幹事会が開催されました。

各種行事に関する企画・検討、実施後の報告等が行われました。

また、第2回役員総会により第IV期（平成31年4月1日～令和3年3月31日）の代表幹事および副代表幹事の選任について審議が行われました。

（新体制は9ページ「運営体制の紹介」参照）

会員状況

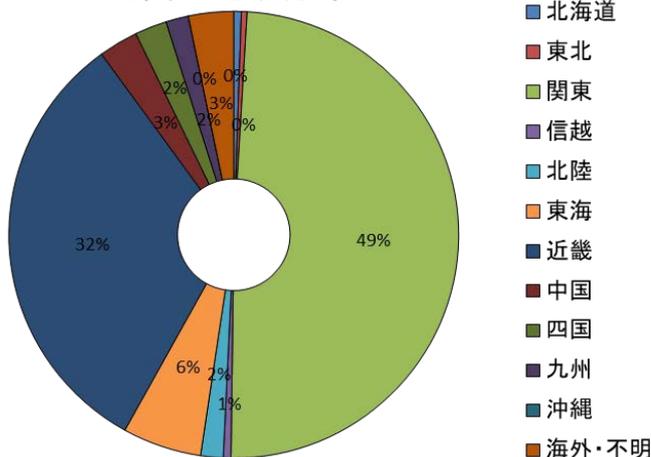
1. 会員数

2019年8月末時点での会員数は738名です。

2. 会員の地域分布

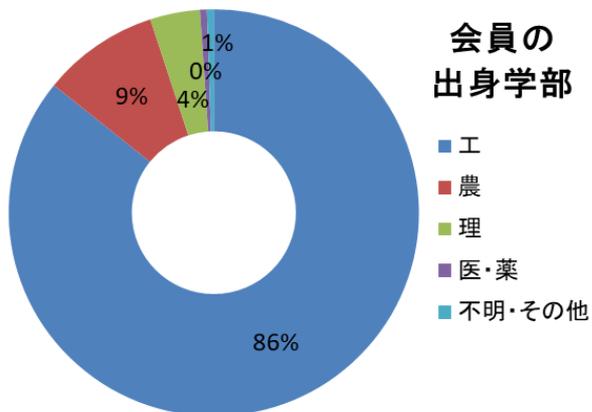
関東が49%、近畿が32%となっています。

会員の地域分布



4. 卒業学部の割合

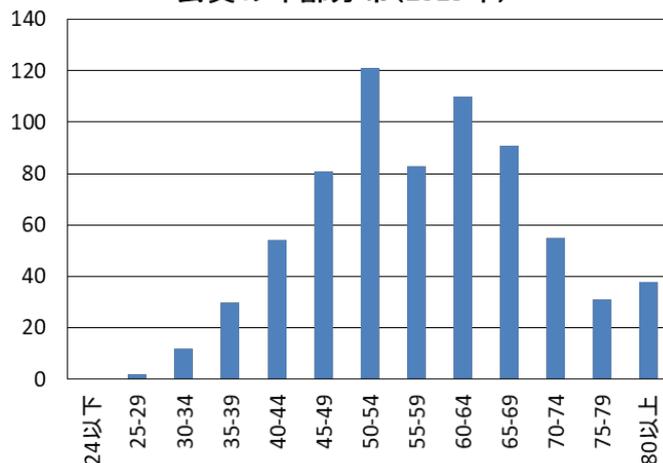
工学部が86%、農学部が9%、理学部が4%です。
なお、工学部内では土木系が半分を占めています。



5. 年齢分布

会員データの大学卒業年から類推した年齢分布を示します。45~69歳の会員が多数を占めています。

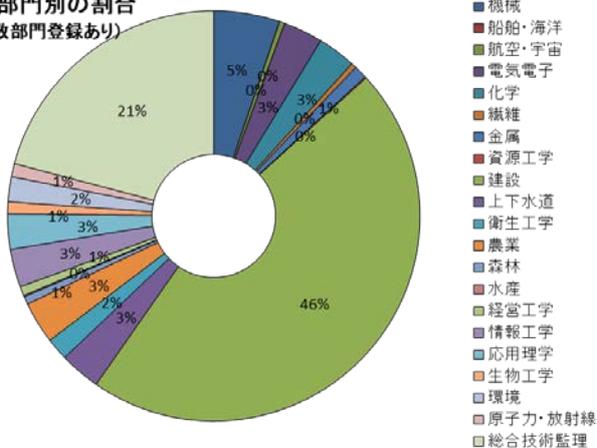
会員の年齢分布(2019年)



3. 登録技術部門の割合

建設が46%、機械が5%です。他の20部門に加えて取得される総合技術監理は21%です。

登録部門別の割合
(複数部門登録あり)



今後の行事予定 (10/1~3/31)

- ・2019年11月2日 第7回記念大会、第17回技術士を目指そう説明会(京都大学)、役員総会
- ・2020年2月22日: 第18回技術士を目指そう説明会(東京)

詳しい日程・内容等は、確定次第ホームページ等に掲載しますのでご覧ください。

広報活動

京都大学技術士会公式ホームページと公式Facebook ページを開設しております。これまで、電子メールからしかできなかった会員登録や行事申込み、会への連絡なども、ホームページから簡単にできるようになりました。

これまで通り本学同窓会ホームページとも連携をしています。現在のコンテンツは、行事の案内・報告が中心ですが、タイムリーな情報発信を心がけ、充実を図っていきたいと思います。皆さま、ぜひ訪れてみてください。

【京都大学技術士会の公式ホームページ】

<http://ku-pe.net/>

The screenshot shows the website's navigation menu with options like 'Home', 'About Us', 'Activities', and 'Contact'. Below the menu, there are sections for 'Overview of the Faculty of Engineering' and 'Upcoming Events', including the 4th Anniversary Meeting on September 30th.

【京都大学技術士会の公式 Facebook ページ】
<https://www.facebook.com/KyodaiPE/>

The screenshot shows the Facebook page for the Kyoto University Faculty of Engineering. It features the university's logo, a cover photo of the Clock Tower, and various posts including event announcements and member photos.

【京都大学同窓会サイト内の京大技術士会ページ】

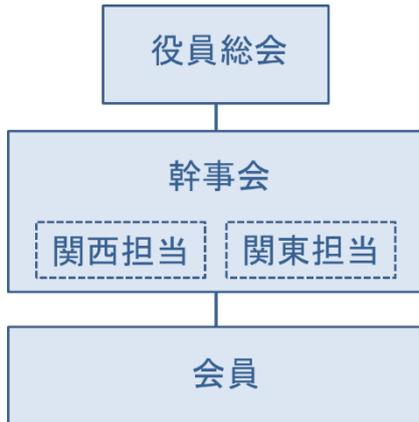
<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/about/compete/domestic/024.html>

The screenshot shows the 'Faculty of Engineering' page on the Kyoto University Alumni Association website. It provides detailed information about the faculty's history, membership criteria, and contact information. A sidebar lists various student organizations like 'L' clubs and research groups.

運営体制の紹介

京都大学技術士会の運営体制（2019年7月28日第28回幹事会時点）は下図のとおりです。

表-1と表-2は2019年度の役員と幹事メンバーです。大学は●、関西は●で示します。その他は関東です。



●: 大学
●: 関西

表-1 2019年度役員

会長	大西 有三● (元副学長)	会務総理
副会長	大津 宏康●	大学行事
副会長	大嶋 正裕● (工学研究科長)	大学総括
副会長	石原 吉雄	会務執行総括
副会長	田岡 直規●	関西地区総括
監事	武山 正人●	
参与	高宮 脩武	
参与	林 克己	
参与	武藤 光	

表-2 2019年度幹事

代表幹事	会務執行総括	石原 吉雄
副代表幹事	関西地区総括	田岡 直規●
副代表幹事	関東地区	佐竹 孝
副代表幹事	関東地区	嶋田 弘僧
副代表幹事	関東地区	新原 雄二
副代表幹事	関東地区	今西 秀公
副代表幹事	関東地区	樋口 義弘
幹事	山崎 洋右	幹事 綾木 光弘●
幹事	白川 正広	幹事 大坪 利行●
幹事	辻井 修	幹事 上田 泰史●
幹事	下村 泰造	幹事 千田 琢●
幹事	横尾 敦	幹事 久保田 正博●
幹事	栗本 卓	幹事 狩野 陽●
幹事	龍原 毅	幹事 有野 剛史●
幹事	松井 理恵	幹事 仲矢 順子●
幹事	新宮 康之	幹事 青井 一●
幹事	高橋 良和●	幹事 吉田 晋侑●
		幹事 馬場 寿人●
		幹事 佐伯 賢一●
		幹事 大前 博●

幹事の紹介

近況報告

馬場 寿人



工学部交通土木工学出身の馬場寿人です。1990年に鹿島建設に入社し、今年で30年目を迎えました。入社以来、都市土木系の現場を中心に仕事をして参りましたが、現在は、関西で営業の仕事に携わっています。技術士は、平成14年に建設部門で登録しました。

東京オリンピック・パラリンピック関連のインフラ整備が落ち着き、関西においても、長年検討されてきた鉄道や道路の大型新規事業の着手に向けて、準備が進められています。夢洲万博やIRに絡む整備も含め、業界が活況を呈するものと予想する反面、人材不足・働き方改革という大きな課題もあり、技術士会における異業種の方々との交流が、課題解決に向けたヒントに繋がるものと期待しています。

(昭63工卒、平2工修、建設部門、鹿島建設(株))

会員紹介

空気をきれいに！

近藤 一寿



私は昭和43年、北九州市で生まれました。10歳で小児喘息を患い、「空気をきれいにしたい！」という思いを持ちました。

京都大学は一浪して合成化学科に入学したものの弓道部に入り浸り、何とか4年で卒業しました。

社会人になってからは環境測定・アセス、福島第一原発構内の放射線管理、覆土の浸透流解析を経験しました。今は土木営業として土壌浄化や再エネ導入を提案しています。

技術士は5回連続不合格でしたが、ボランティアの先生のおかげで2年前に合格できました。今は自身がボランティアの立場で受験支援しています。京大技術士会でもそのような取り組みを希望しています。

(平4工卒、建設/環境部門、日本国土開発(株))



「会員紹介」の原稿募集

本紙に掲載する会員の皆様の自己紹介を募集します。掲載ご希望の方は、下記の内容を下記の会報担当アドレスまでお寄せください。

《自己紹介 執筆要領》

- ① 標題（概ね 10 文字以内）
- ② 内容（技術士として、京大との関わりなど、ご自由に 300 文字程度）
- ③ 最終行【】内に【卒業（修了）年、学部（研究科）、技術部門、所属】を記入
- ④ 顔写真（JPEG形式）

《会報担当アドレス》

office@ku-pe.net

会員の皆様へのお願い

京都大学技術士会は、入会金や年会費はなく、行事毎の必要費用を参加費として負担いただいています。そこで次のお願いがあります。

1. 入会・登録情報変更方法

京都大学技術士会ホームページの専用フォームから必要な情報をお送りください。

<http://ku-pe.net/>

最近、登録いただいているアドレスにメールが届かない事例が多くなっております。メールアドレスが変更になった方は、事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。

2. 京大卒の技術士さんに入会をお勧め下さい

京大卒の技術士さんをご存じでしたら、ぜひ入会をお勧めくださるようお願いいたします。

3. 講演会などの行事にも参加をお勧めください

現在のところ、会員以外の方も講演会に参加できるようにしています。同僚の方や同窓の方などに、開催通知を転送していただければ幸いです。

4. ご提案、ご意見お待ちしております

イベントのご提案や、改善すべき点などのご意見は、ホームページの専用フォームからお願いします。

編集後記

幹事・会員の自己紹介を拝読したり、「技術士を目指そう説明会」の参加者の声をお聞きする中で、技術士の取得を目指す理由は、人によって様々なあと感じます。

技術者としての夢を叶えようとする方、技術の幅を広げるために学ぼうとされる方、定年後にチャレンジされる方など・・・まっすぐな皆様の姿勢から、私も頑張っって学び続けようという気持ちを受け取っています。

ぜひ、本会の講演会などを、スキルアップや継続研鑽の機会としてご活用ください。ご参加お待ちしております。